

# 学園だより

社会福祉法人 至誠学園立川

## 至誠学園

平成23年12月1日

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://shiseigakuen.org/> Email: [info@shiseigakuen.org](mailto:info@shiseigakuen.org)

発行 児童事業部 広報委員会

## 今年も皆様のご支援に感謝いたします



(立川公園陸上競技場にて 東京立川ライオンズクラブさんと運動会 背景には至誠学園)

この夏、子どもたちの代表が職員とともにバザーの売上金を義援金として持参し、震災地の施設を訪ねました。東日本大震災で家族を失った子どもたちや、津波の中を必死に泳いで助かった高校生の話、また避難所で生活している悩みなど多くの話と、現地を実際に見た子どもたちは、あらためて地震や津波の恐ろしさを実感しました。

特に、養育親族への支援などを中心とした災害孤児の対策、そして里親制度による養育など、子どもたちの周囲の人々による取り組みがあることは、この地方であればこそとあらためて、養育に対する地方の方々の思いに考えさせられました。

また、北海道旭川にご縁があって、酪農や木工体験などをさせていただいた中学生達は、広い北海道の自然と同時に、自らの新たな生活を広げていくうえで、考える機会をいただきました。子どもたちの将来を見据えた自立支援のプログラムとして、すすめていきたいと思えます。

国の大きな政策転換が8月にあり、都道府県などが条例を定め、従来の国の基準を地方におろしていくということが進められています。特に児童福祉最低基準の改正は、都道府県独自の基準として規定することに、来年4月を目途に進められているところです。

こうしたことで、この社会的養護はさらに地域に密着した内容と、その責任の明確化がすすめられていくガバナンスの意識が求められていくことにもなります。一方では重篤化する子どもたちへの支援の取り組み、さらに社会的養護として里親への支援は、私たちがさらに努力しなければならないところです。

この1年、数々のご支援をいただいた施設養護でありましたが、さらに将来に向けて、夢ある仕事として今後とも進めてまいりたいと思います。皆様のご支援に感謝し、新たな年に幸せ多くと、お祈り申し上げます。

高橋利一 至誠学園統括学園長

# 子どもたちの夏

## 優勝おめでとう ドッジボール部 やったね！ 3位 バレーボール部



東京都児童福祉施設競技大会「江戸っ子杯」(8/2)で、ドッジボール部が優勝、バレーボール部が第3位、野球は第4位という学園史上初の快挙を達成しました。  
ドッジボール部監督小島哲職員によると勝因は「子どもたちが継続して一生懸命練習したこと、子どもたちを信じたこと」とのことでした。

### 北海道旭川 職業体験

8/23-26



至誠大地の家の家具選びでお世話になった石塚家具店さん(立川市)を通じて中学生の職業体験として旭川の家具工場のクリエイティブファニチャーさん、および近隣の

牧場体験をしてきました。

家具工場では、木を切ったり、やすりかけをさせてもらい、牧場では牛舎の掃除や子牛にミルクをあげたり(写真上)することが出来ました。参加の中学生3人は、初めての飛行機の旅で、最初はとても緊張していましたが、皆さんに親切にいただき、いろいろと体験しているうちにどんどん生き生きしてきたのがわかりました。後日談ですが、このとき、みんなが紙やすりかけたテーブルは、立川市の石塚家具店さんを通して、多摩地域の方に販売されました。

(参加高校生の感想)

「ご飯がおいしかった」「道路がまっすぐで広い」「自分達でしぼったので牛乳がおいしい」  
(この時の美瑛牛乳はウインターバザーの際に届けていただきました。)

今年も夏休みにグループに分かれて勝浦に出かけました。東日本大震災の影響で放射線量などが心配されましたが、子どもたちは、徳井美千代さんと一緒にご飯を作るなどして、元気に楽しく過ごすことが出来ました。  
ありがとうございました。

### 「山中湖わくわくキャンプ」 至誠大地の家

8/15-17



場所: 淑徳大学山中湖研修センター  
メンバー: 児童、職員、ボランティア  
写真: 水陸両用車に乗りました。

普段の生活ではできない、大きなお風呂、乗馬、サイクリング、山登りなど大自然のなかで思いっきり遊びました。

### ゴールドマン・サックス社員の方々による

- ・ キャリア・メンタリング・プログラム 8/30  
自立を控えた子どもたちのためのプログラム。高校生が六本木ヒルズにあるゴールドマン・サックス社の見学や社員の方のお話、面接の練習などに参加
- ・ ギャラリーツアー & アートワークショップ 6/4  
世田谷美術館の見学とワークショップに小学生の子どもたちが中心に参加しました。

### ボーイスカウト、ガールスカウト 夏のキャンプ

- < 山梨県北杜市へ >
- ・ ボーイスカウト 白州へ 8/19-22  
あいにく雨でしたが、山登りなど自然の中の体験が出来ました。
- ・ ガールスカウト 八ヶ岳立川市の山荘 8/3-5  
女の子たちのお気に入りにはリフトでした。

地域社会に支えられた 至誠学園・至誠大地の家

立川第三中学校創立六十周年を迎えて  
- 至誠学園と本校の絆 -  
立川市立立川第三中学校長 小沼孝行

本校は、平成22年度末をもって満六十歳を数え、この10月29日に創立六十周年記念式典を挙行させていただきました。これも、ひとえに関係各位、そして保護者・地域の皆様のご理解とご支援の賜と心から厚く感謝申し上げる次第です。とりわけ、至誠学園の皆様のご支援は、立川第三中学校の歩みを語る上で欠くことができないものと言えます。

本校は、昭和二十六年四月一日、至誠学園内を拠点とし、分校を立川柴崎学校(現立川市立第一小学校)内に構え開校しました。以来、3回の移転を経て現在地にたどり着き、卒業生は、一万五千五百五十四名を数え、各界で活躍しておられることに、この上ない喜びと誇りを感じております。ことに、卒業生やその保護者として、至誠学園生徒、生徒保護者、職員の方々の多大な活躍とご助力があり、本校職員との太い繋がりが作り上げられて今の立川第三中学校があることは言うまでもありません。

激動の時代、諸制度や学校と地域の連携の在り方も新たな変革が求められる時、至誠学園も今年度が創立六十周年を迎える節目の年と聞いております。本校との新たな一歩を進めるにあたり、倍旧のご支援をお願いしつつ、心からお慶び申し上げます。そして、これまでに培った御学園と本校との絆をますます大切に、更なる発展を目指すことをお約束申し上げ、結びとさせていただきます。

第 8 回 児童虐待防止月間記念セミナー  
11/18 立川市市民会館小ホールにて開催



第一部(写真左)は印牧真一郎先生と由規子先生ご夫妻のご指導による子どもたちと職員による歌のパフォーマンス、第2部(写真右)は村瀬嘉代子先生の「今、この時代を子どもたちと生きるということ」について、ご自身の体験や震災被害の子どもたちなどを中心に、お話をいただきました。

当日は立川市子ども家庭支援センターのセンター長鈴木伸和氏、国際ソロブチミスト立川の村田康子氏よりそれぞれご挨拶いただき、市民の皆様と民生児童委員、東京立川ライオンズクラブ、国際ソロブチミスト立川の皆さまや地域の保育園の先生方と一緒に、子どもたちを取り囲む社会の環境や家庭について、考える機会を提供することができました。

苦情解決システムー第三者委員の皆さま



社会福祉法第 82 条に基づき、利用者である子どもたちや保護者等からの苦情・意見・要望に対して適切な対応に努めています。

日常的に子どもたちに「困ったことがあれば相談できる」という意識を育て、いつでも利用できる意見表明の機会として「みんなの箱」を本園、グループホームに設置して活用を促しています。

エンジェルサポートセンターの自立支援プログラム

(公財)資生堂社会福祉事業財団の後援による「資生堂エンジェルラウンジ 2011」として自立を控えた都内の施設の子どもたちのために開催され、学園の中学・高校生が参加しました。  
9/25 マサ大竹さん講演会  
10/16 ヨット夢体験  
11/20 身だしなみ講座



キッズドア中学生の進学支援プログラム

中学生を対象に月2回、4時間を基本に大学生がマンツーマンで学習支援に来てくれています。このプログラムの特徴は、勉強を見るだけでなく、大学生自身がどう勉強をしているのか、将来どうしたいと考えているのか、受験の時どれくらい勉強したのかなどの体験などを話してもらいながら、子どもたちと交流しながら、勉強します。教える大学生も自分を振り返るよい機会となっています。先日は大学祭にも行ってきました。



ら、勉強します。教える大学生も自分を振り返るよい機会となっています。先日は大学祭にも行ってきました。

「自立 UP」就労支援プロジェクト

企業の日本マイクロソフト(株)と NPO 法人(東京ボランティア・市民活動センター)が協力し、高校生の自立支援として、インターネット技術を通し、就職に関する情報収集技術や、自分に合った職業の情報収集のコツ、パソコンソフトを活用した事務仕事(ワード)や管理仕事(エクセル)に関する技術などを学ぶプロジェクトです。

学園では高校生4人が参加して、夏休みに集中的に学びました。今度は冬休みを予定しています。

# 子どもたちの生活 秋

## 運動会



「第16回みんなでたのしく運動会～一日里親の集い～」が10/10(祝日)に立川公園陸上競技場にておこなわれました。当日は東京立川ライオンズクラブの皆様のご協力のもと、約240名の参加者が集まり、みんなで一緒に楽しく体を動かすことが出来ました。

集合写真は1ページです。

## 中華料理バイキング 10/19

日本中国料理協会三多摩支部の方々による



立川市や府中市などのホテルのシェフさん達が子どもたちに中華料理を作ってくれました。立川市長や宮崎章都議も一緒においしくいただきました。

## ダイエー ユニオン様ご招待行事 9/17

夏の暑さが戻り、途中には強風と雨も降る中、毎年恒例の行事が行われました。今年は、園庭の芝生が冬用種を蒔いた直後で、お楽しみのバレーボールはできませんでしたが、企画して下さったスタンプラリーでは、小さい子ども中学生も賞品のアイスクリームを目指して、大いに盛り上がりました。

## 6 プロサッカー大会 10/23



三多摩児童養護施設ジュニアサッカー大会で、子どもたちは日頃の練習成果を発揮し、みごと三位になりました。

## 学園のアクティビティ

- ・ 絵画教室 竹中潔先生 月1回
- ・ 音楽教室 印牧由規子先生 週2回
- ・ 創作ダンス 秦野句子先生 週1回
- ・ 週末のバンド活動 卒園生の指導 週1回
- ・ 各種スポーツ活動(学園職員の指導)  
野球、ドッチボール、バレーボール
- ・ ボーイスカウト、ガールスカウトの活動

## 「子供キラット発表会」 11/13



写真左:秦野句子先生のご指導によるダンス。子どもたちは舞台メイクをして舞台に。

写真左下:合唱指導の印牧真一郎先生と由規子先生に舞台が終わって、子ども達からの感謝の花束贈呈。



例年の民生文化協会主催「施設文化祭」は、今年はテレビ朝日主催の「子供キラット発表会」(横浜子ども国)と変更になり、ダンス、合唱、バンド(写真右上)にと子どもたちが参加してきました。

## アメリカ大使 ご招待 9/23



アメリカ大使のご招待で、大使館家族宿舎のお庭で大使館家族の方々と交流してきました。最初は緊張気味の子供達でしたが、学園の高校生 Mさんは英語で交流、他の子どもたちは大使館員の子どもたち(日本語が上手)と日本語ですぐに仲良く遊べました。最後まで緊張で固まっていたのは職員でした。

## 七五三 11/15



(左)今年お祝った学園と大地の家の子ども達

お天気にも恵まれ、諏訪神社にお参りし、諏訪の森保育園、至誠ホーム(写真右上)、立川児童相談所などにお披露めしました。子どもたちはみんなにお祝いしてもらって、喜んでもらったことに大満足でした。

## 子どもたちの海外交流の感想

ライオンズクラブユースエクスチェンジ派遣へ  
東京立川ライオンズクラブテクテク会のご支援で高校生0さんが参加 (7/22-8/24 の一か月間)

フィンランドでの1カ月は長いようで短く、短いようで長いものでした。日本では考えられないような出来事が毎日毎日あたりまえのようにあって、驚かされることばかりでした。

驚いたこと(例えば)

・1 週間の食事がほとんど同じようなメニュー。お店の店員さんが無愛想で雑。石鹸で手を洗いぬいで洗うことがあまり見られない。スプーンなどが指紋や油でべとべとしていても気にしないで使っていること。英語がしゃべれるのは当たり前 (中略)

この他にもたくさんを知り、学び、すべてが刺激的で忘れられないものとなりました。この経験は、私の考え方を大きく変えたと同時に、視野も大きく広がりました。これからの私の人生に大きくかかわって行くと思います。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。

海外生活体験の旅(アメリカシアトル7/27-8/4)



テレビ朝日福祉文化事業団の主催での海外ホームステイ事業。高校生Sさんが参加

私は今回の旅でたくさんのものを得ることができました。まずみんなととても仲良くなることができました。二つ目は積極性です。人見知りだからといって黙っていたら何もできないまま、貴重な時間を過ごすのはもったいないと思いました。人見知りが少し、克服できました。三つ目は忘れることのない大切な思い出です。(中略)

今後、この経験を様々な場面で生かしていきたいです。テレビ朝日福祉文化事業団の皆さん、シアトルで私達の旅をいろいろ助けて下さったアズマノのインターナショナルの皆さん、本当にありがとうございました。

## アメリカ空軍横田基地の皆さま

毎月 1 回土曜日の活動で子どもたちと一緒に遊んでくれます。



子どもたちが英語を楽しく学べるように、毎回、遊びを工夫して下さっています。

## ウインターバザー 12/4

今回は中高生の進学資金にと、学園の高校生も企画の段階から参加し、当日の役割を引き受けました。天候にも恵まれて、大勢の方々の参加を頂きました。



写真上: 多くの人でにぎわう、福引き当選者発表。



写真左: たくさんのボランティアの方々のご協力して下さいました。

## 被災地へお届け

7月3日開催のサンデーマーケットの収益金585,938円と至誠大地の家職員有志一同からの30,000円を、宮城県気仙沼市の児童養護施設「旭が丘学園」を通じて東北地方の児童養護施設へお役立て頂くよう、至誠学園の中学生と高校生が届けてまいりました。



気仙沼市では元職員で宮城県社会福祉協議会の北川進さんに津波の被災地域の視察と現地の方たちの生活支援等、お話を聞かせていただきました。

## 「みんなで Let's Go! 多摩動物公園！」

まことくらぶ



会員の皆さん、ご家族、関係機関の方々、ボランティア、スタッフの総勢42人で (11/12)

園内ではグループ毎にあらかじめ用意された地図とクイズを使い、動物を見ながらクイズをとりまわりました。お天気にも恵まれ楽しい1日を過ごすことができました。ご参加頂いた皆様ご協力ありがとうございました。(阿久津嘉代子施設長)

モンテッソーリ立川子どもの家(園内幼児教育)

毎週火曜日は英語の日。宮田和子先生は子どもたちがゲーム感覚で英語に親しめるようにと、毎回工夫してくださっています。

10/25 ハロウィン

お祭りの由来やおまじないのことばを教えたもらった子どもたちは思い思いの衣装を付けて、さっそくお菓子をもらいに、学園長先生のところに行きました。



10/27 ビザづくり

栄養士さんの指導のもと、子ども達は自分の食べるぶんのピザをこねて、好きなトッピングを選んでのせました。

東京電力労働組合の皆様 11/12



毎年、倉庫整理などを中心に、力仕事をしてくださっています。今年は、自転車の解体と倉庫の整理をして下さいました。

フィリップモリスジャパンの皆様 11/7、11/11



ピクニックエリアのインターロッキング作業、特に2回目は大雨の中の作業でした。

卒園生友の会

楽しく充実した大学生生活を送っています。

K君の場合

今、電気関係専攻の大学2年生です。毎月1回は学園長先生、久美子先生と話をしに来ています。「1年生の時と比べて、2年生になって専門科目が増えてきたので、勉強が難しくなりました。」「東日本震災の影響で、今年は夏休みも少なく」といいながらも頑張っていて、成績はとてもいいです。

Mさんの場合

体育系大学の1年生です。奨学金をいただいているのですが、シューズやジャージーなどこまめに洗濯して、節約し、アルバイト(コンビニ)や友人との交流で楽しく過ごしています。学園(中学高校)のとき、学習ボランティアさんと一緒にたくさん勉強したので、英語が得意です。「先日の試験では、大学で一番優秀なクラスに入れられてしまい、かえって大変」と話していました。

地域の子もたちは地域で育てる

立川市立第三小学校 PTA 会長 飯島ひとみ

立川市立第三小学校のPTA会長を務めさせていただき三年目を迎えています。

地域の子供たちは、地域で育てる事が重要で、学校・家庭・地域社会の三者が子供の教育について緊密に連携する事が望ましいと思われます。

そんな中、沢山の行事を通じて、学園と三小の子供たちの交流が深まってきました。

学園で行われる、こどもの日のガーデンパーティーでは、園庭でゲームをしたり、美味しい物を食べたり、十二月のクリスマスパーティでは、檜の木ホールにて楽しいイベントに三小の子供たちは参加させていただいております。

また、第三小学校PTA主催の「三小まつり」では、毎年地域や学園の諸団体が惜しみない協力をしてくれます。まことクラブが手作りクッキーやパンの販売を、ボーイスカウト第四団がわりばし鉄砲作りを、至誠サイエンスクラブが今年は手作りパラシュートを、そして学園の職員の方々が沢山のブースのお手伝いにと協力をいただきました。学園職員の方々と保護者の方々が顔見知りになると言う事はとても大切な事だと思います。

「至誠」・・・きわめて誠実なこと。また、「その心、まごころ」の気持ちを大切に大人たちが、子供の為に手を取り合い、お互いに協力し合い、行動していければと考えます。これからも沢山の行事を通じて連携していきたいと思ひます。

ボーイスカウト オーバーナイトハイク 11/22-23

ボーイ隊(小学校高学年から)を中心に 15名ほどが参加し、学園から野火止、国分寺など経由する 28キロ余りを、夜8時出発して明け方の2時過ぎまでかけて、歩きました。九州の清心慈愛園から学園に研修に来ていた職員2名も含めて職員(学園と至誠大地の家)7名も参加し、全員が完歩出来ました。



ただ今、明け方の3時48分。学園に戻って整列。

応援(途中うどんの提供など)の職員やボランティアさんに迎えられて。

ガールスカウト 立川駅で募金活動 10/15



立川駅でボーイスカウトと一緒に赤い羽根共同募金活動をしました。

少し恥ずかしかったけれど一生懸命大きな声で呼びかけました。

## 後援会のお知らせ

毎年、多くの方々から後援会費をご送金いただき心より感謝を申し上げます。

今後とも変わらぬご支援を、どうぞ宜しくお願いいたします。

(至誠学園後援会会長 三田鶴吉)

また、新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのために、あたたかいご支援いただけますようご入会をお願いいたします。すでにご入金いただいている方には、重ねてのご案内を失礼いたします。

会費の納入は下記の口座にて承ります。

< 連絡先 > 至誠学園後援会事務局  
立川市錦町 6-26-15(至誠学園)  
TEL 042-524-2601

< 郵便振替口座 >  
口座番号 00140 - 2 - 356681  
口座名 至誠学園後援会

< 銀行口座 >  
中央三井信託銀行立川支店  
口座番号 普通 7902588  
口座名 至誠学園後援会

至誠学園元施設長の高橋久雄さん  
ボーイスカウト日本連盟「たか章」受賞  
「たか章」は民間人に対して送られる最高位の賞で、ボーイスカウトを永年続けてきただけでなく、スカウト活動に多大な貢献をしてこられた方に贈られます。学園を本部とする立川第四団の指導者としてご奉仕くださっています。

### 地域の情報コーナー

学園では「かしの木ホール」「至誠大地の家ホール」を地域の方々への活動のために開放しています。

#### なおちビレッジさん

元 NHK 歌のお姉さんの稲村なおこさんを中心に歌ったり踊ったりできる楽しいグループです。小学生から70代まで幅広い年代の人々が参加していて、モンテッソーリ子どもの家のクリスマス会では、昨年楽しい歌を歌ってくれました。原則、毎月、第1木曜日、学園のかしの木ホールを使用して活動をしています。

#### 養育家庭 朴さんのキムチ料理教室



至誠大地の家のホールのキッチンを使っての本格的なキムチづくりです。バザーに出店します。11/4

#### 芝生 通信

園庭の芝生は秋を迎えても順調です。秋冬用の種をまきました。乾燥の季節を迎えて、散水用の井戸はありがたいです。

**平成23年度 職員専門研修予定**

昨年に引き続き各先生方をお願いをしています。

- 法政大学教授 皆川邦直先生 年6回  
「困難事例のケースカンファレンス」 上級研修
- 淑徳大学大学院教授 金子 保先生 年8回  
「法人の理念とケアワーク」 新入職員向け
- 山梨県立大学教授 西澤哲先生 年7回  
「入所児童の生活支援と治療的療育」  
新入職員、中堅職員向け
- 法政大学教授 小野純平先生 年6回  
「入所児童の学習への支援」
- 昭和女子大教授 高橋久雄先生 年6回  
「実践力を高めるグループワーク」 中堅職員向け
- 川井尚先生(至誠大地の家臨床心理) 年2回  
「家族支援」 地域に公開
- 塩谷先生(小児科医) 子どもたちと予防接種 年1回
- 高橋利一統括学園長(法政大学名誉教授)  
「ゼミナール-社会的養護の課題と未来」 年6回  
外部の研修にも積極的に参加して、専門性向上のために取り組んでいます。

シリーズ研修 その1 上級職員研修 皆川邦直先生



2005年から始まったこの上級研修では、毎回、事例を中心に具体的、子どもの理解、援助方法やチームアプローチなどを学びます。この日は、家庭との交流が課題になっている事例でした。  
(事例担当職員の感想) 家族についての寂しい気持ちを受け止める以外なかなか策がなかったが、具体的に「育ての親」として自信を持ったかわりや職員と家族写真をとるなどの方策を教えていただいたのがとても良かった。

全国社会福祉協議会 永年勤続表彰  
勤続20年表彰  
松浦至誠学園職員

毎日、その時、その時を一生懸命に子どもたちと向き合っているうちに、このような表彰をしていただきました。ありがとうございました。

**これからの主な予定**

- ・学園クリスマス会 12/24  
今年も地域の方々をご招待します。
- ・モンテッソーリ子どもの家 クリスマス会 12/17
- ・至誠大地の家 クリスマス会 12/24
- ・2月 6 プロマラソン大会
- ・3月 モンテッソーリ立川子どもの家 卒園式  
学園 卒園式

グループホーム探訪シリーズ 第3回  
**「五番館」**

立川市から日野市に引越してから6年目が経ちました。ホームの裏には田んぼがあり、初夏は青々とした稲穂がなびき、大きな鳴き声の蛙の合唱が聞け、秋には刈りいれが行われました。庭には大きな金木犀の木もあり、季節を実感できるとても良い環境です。今年度は「節電・節水・エコ節ガス! 早寝早起き朝ごはん!!」を目標に、中学生以上の子どもたち6名とともに生活を送っています。



近隣に警察署があり、となりにには大家さん宅があるので安心して生活することができています。



台所と居間の仕切りをなくしているので開放的な空間となっています。ゆっくりテレビを見たりおしゃべりする場所です。

**養育家庭 至誠さくら支部**

これまで、養育家庭支援センターとして三十数年間かかわってきましたが、里親さんとの連携を積極的に進めています。

- ・座談会 10/20 学園会議室にて 写真左下
- ・立川児童相談所「養育家庭交流事業」11/27
- ＜クリスマス会＞ 学園ホールにて学園長挨拶の後、さくら支部と立川児童相談所との交流ができました。



・バザー(12/4)の販売予定キムチの仕込みを学園で行いました。12/2 事前の料理教室(7P 紹介写真)もしました。

**高橋利一統括学園長の近況**

今春より、法人経営に加えて、東京都社会福祉協議会の副会長、法人協会長、東京都児童福祉審議会委員、児童部会顧問、日本児童養護実践学会会長などが加わり、以前にも増して多忙な毎日です。

**編集後記**

今年も残すところあとわずかとなりました。夏の子どもの活躍や秋の充実した行事を中心にお届けいたしました。突然のお願いにもかかわらず、こころよくご執筆をお引き受け下さった方々、記事編集にご協力くださった方々に感謝申し上げます。

皆様、どうぞよいお年をお迎え出来ますようにお祈り申し上げます。(広報委員会一同)